

平成 25 年 3 月 1 日  
技術管理者 CPDS 事務局

## 技術管理者 CPDS 記録の記入上の留意事項

技術管理者 CPDS 記録簿の入力例を参考にして記入してください。記入上の留意事項は以下のとおりです。

### 1. 技術管理者 CPDS 記録簿（様式 3）の記入上の留意事項

技術管理者 CPDS 記録簿は、ホームページから様式をダウンロードして Microsoft Excel ファイルに入力することを基本としています。

なお、自筆で記入される場合には、別添の様式 3（白紙）を利用してください。

- ① 新たに列を増やさないでください。
- ② 行は適宜、増やしても差し支えありません。
- ③ 各列の項目表示を変更しないでください。
- ④ 列の幅、行の高さは、変更しても差し支えありません。

### 2. 初年度に新規登録する内容についての留意事項

#### (1) 資格や特許等の取得、受賞等【記入例 1】

新規登録者は、資格、特許、実用新案の取得、公的団体からの受賞について、過去に遡って初年度に登録することができます。登録の際に証明書類のコピーを添付（ガイドブック参照）してください。

- ① 「開始年月日」欄：資格等を取得した年月日を記入してください。
- ② 「分野記号」欄：廃棄物処理施設技術管理者 CPDS ガイドブック（以下、ガイドブックという。）表 1 に該当する記号を記入してください。
- ③ 「形態番号」欄：ガイドブック表 2 に該当する番号を記入してください。
- ④ 「CPD 名称」欄：資格名、表彰の名称、特許等の名称を記入してください。
- ⑤ 「主催者等」欄：主催する団体名を記入してください。
- ⑥ 「CPD の内容」欄：資格の内容、表彰の対象となった内容等を記入してください。
- ⑦ 「実時間」欄：時間ではなく件数を 1 として記入してください。

#### (2) 論文・技術図書の執筆、公的委員会の参加等【記入例 2】

登録時から遡り、5 年前までの実績が登録できます。

記録は 4 月 1 日から翌年の 3 月 31 日の年度ごとに、「3. 学習形態別 CPD 記録の記入上の留意事項」を参考として記入してください。

### 3. 学習形態別 CPD 記録の記入上の留意事項【記入例 3】

#### (1) 共通事項

##### 1) 実施期間等

- ① CPD 実施期間が複数日の場合には、開始年月日を上段に終了年月日を下段に西暦で記入してください。
- ② 1 日で終了するプログラムは開始年月日の欄に実施日を記入してください。
- ③ 特許取得、資格取得、受賞などは取得日、受賞日を開始年月日に記入してください。

##### 2) 分野（記号）等

認定されたプログラム以外は、ガイドブック表 1 を参考とし、実施プログラムの内容を勘案して、選択・記入してください。

研修等が数日にわたり開催されるものは、最初の行に CPD プログラム全体の内容を記入してください。その上で、2 行目からは学習分野ごとに CPD の内容等を記入してください。

3) 「主催者等」欄：行事等を主催する団体名を記入してください。

4) 「実時間」欄には、実際の受講等の時間を記入してください。食事・休憩・移動時間は実時間から除いてください。

##### 5) CPD 単位の時間または件数等

技術管理者 CPDS 記録簿の「実時間」欄、「CPD 単位」欄については、時間以外の資格取得の件数、論文の枚数はガイドブック表 2 を参考にし、件数や枚数を時間欄に記入してください。

##### 6) CPD 単位の累計

CPD 時間は、個々のプログラムの実施状況を累計し、「学習分野別の CPD 単位数累計」欄及び「学習形態別の CPD 単位数累計」欄に学習分野別・学習形態別の CPD 時間数を記入してください。ここで累計された CPD 単位が CPD 取得単位となります。

##### 7) CPD 単位の上限

CPD プログラム実施の結果、取得単位が上限に達した場合には、表 2 に示す CPD 単位の上限値を記入してください。

#### (2) 学習形態別の留意事項

##### 1) 研修等への参加

(認定された研修会・講習会への参加)

認定プログラムは、当協会 HP の認定プログラム一覧を参照 (p.7 の「認定プログラムの詳細の一例」) してください。

- ①「分野（記号）」欄：当協会 HP の認定プログラム一覧の詳細をクリックして学習分野を記入してください。
- ②「CPD の名称」欄：認定プログラムの名称を記入してください。
- ③「CPD の内容」欄：当協会 HP の認定プログラム一覧の詳細をクリックして、講義科目を記入してください。
- ④「CPD 単位」欄：当協会 HP の認定プログラム一覧の詳細をクリックして、その実時間、重み係数を記入して単位数を算定してください。

(研修会・講習会、シンポジウム等への参加)

- ①「分野（記号）」欄：学習分野はガイドブック表 1 を参考とし、実施プログラムの内容を勘案して、選択・記入してください。
- ②「CPD の名称」欄：研修会等の名称を記入してください。
- ③「CPD の内容」欄：学習内容を簡潔に記入してください。
- ④「実時間」欄：記入された学習分野に対応する実時間を記入してください。

(学会・見学会等への参加)

- ①「分野（記号）」欄：学習分野はガイドブック表 1 を参考とし、選択・記入してください。
- ②「CPD の名称」欄：学会・見学会等の名称を記入してください。
- ③「CPD の内容」欄：学習内容を簡潔に記入してください。
- ④「実時間」欄：記入された学習分野に対応する実時間を記入してください。

## 2) 職場内研修

- ①管理職研修、社内の業務関連会議などは計上しないでください。
- ②「分野（記号）」欄：学習分野はガイドブック表 1 を参考とし、実施プログラムの内容を勘案して、選択・記入してください。
- ③「CPD の名称」欄：研修会等の名称を記入してください。
- ④「CPD の内容」欄：研修内容を簡潔に記入してください。
- ⑤「実時間」欄：記入された学習分野に対応する実時間を記入してください。

## 3) 業務経験

技術管理者 CPDS 記録簿は以下のとおり記入してください。

なお、廃棄物処理施設技術管理者にとって業務経験は極めて重要な要素であるため、業務経験によって得られた成果など、具体的な内容を付属資料 1 「業務経験 CPDS 実施内容」に記入し、添付してください。

特許等については、付属資料 1 の作成は必要ありませんが、特許証、実用新案登録証等、氏名と発明等の名称の記載されているページのコピーを添付してください。

- ①「CPD 開始年月日/終了年月日」欄：業務の期間あるいは表彰や特許等を受け

た日を記入してください。

- ② 「分野（記号）」欄：学習分野はガイドブック表 1 を参考とし、選択・記入してください。
- ③ 「CPD の名称」欄：プロジェクトなど業務の名称、特許名を記入してください。
- ④ 「CPD の内容」欄：業務内容、特許等の内容を簡潔に記入してください。
- ⑤ 「実時間」欄：ガイドブック表 2 の単位算定方法を参考にして、業務の責任者・担当者、特許等の区分で一つの業務を 1 件として記入してください。

#### 4) 技術指導

- ① 「分野（記号）」欄：学習分野はガイドブック表 1 を参考とし、選択・記入してください。
- ② 「CPD の名称」欄：講演等のタイトルを記入してください。
- ③ 「CPD の内容」欄：講演等の内容を簡潔に記入してください。
- ④ 「CPD 単位」欄：ガイドブック表 2 の単位算定方法を参考にして、職場内、大学等、その他の研修会等の区分に相当する単位数を算出してください。

#### 5) 委員会等への参加

- ① 「CPD 開始年月日」欄：委員会の開催日を記入してください。
- ② 「分野（記号）」欄：学習分野はガイドブック表 1 を参考とし、選択・記入してください。
- ③ 「CPD の名称」欄：委員会等の名称を記入してください。
- ④ 「CPD の内容」欄：委員会等の内容を簡潔に記入してください。
- ⑤ 「実時間」欄：ガイドブック表 2 の単位算定方法を参考にして、委員会への出席（委員長）、委員会への出席（委員）の区分で実時間を記入してください。

#### 6) 論文等の発表

（口頭発表）

- ① 「分野（記号）」欄：学習分野はガイドブック表 1 を参考とし、選択・記入してください。
- ② 「CPD の名称」欄：講演等のタイトルを記入してください。
- ③ 「CPD の内容」欄：講演等の内容を簡潔に記入してください。
- ④ 「CPD 単位」欄：ガイドブック表 2 の単位算定方法を参考にして、学協会、その他の区分に相当する単位数を算出してください。

（論文発表）

- ① 「分野（記号）」欄：学習分野はガイドブック表 1 を参考とし、選択・記入してください。
- ② 「CPD の名称」欄：論文等のタイトルを記入してください。

③「CPD の内容」欄：論文等の内容、雑誌名、ページ数、発行年月日等を簡潔に記入してください。

④「CPD 単位」欄：ガイドブック表 2 の単位算定方法を参考にして、査読有、査読無の区分に相当する単位数を算出してください。

(技術図書の執筆等)

①「分野 (記号)」欄：学習分野はガイドブック表 1 を参考とし、選択・記入してください。

②「CPD の名称」欄：技術図書等の名称、執筆部分のタイトルを記入してください。

③「CPD の内容」欄：技術図書等の内容、図書名、ページ数、発行年月日等を簡潔に記入してください。

④「CPD 単位」欄：ガイドブック表 2 の単位算定方法を参考にして、図書の執筆、翻訳の区分に相当する単位数を算出してください。

## 7) その他

(自己学習)

技術管理者 CPDS 記録簿は以下のとおり記入してください。

その際、自己学習の習得内容等を付属資料 2 「自己学習 CPDS 実施内容」に記入し、添付してください。

①「分野 (記号)」欄：学習分野はガイドブック表 1 を参考とし、選択・記入してください。

②「CPD の名称」欄：自己学習の媒体や書籍名等を記入してください。

③「CPD の内容」欄：自己学習の習得内容等を簡潔に記入してください。

(技術協力)

①「分野 (記号)」欄：学習分野はガイドブック表 1 を参考とし、選択・記入してください。

②「CPD の名称」欄：プロジェクト名、テーマ等業務の名称を記入してください。

③「CPD の内容」欄：業務の内容等を簡潔に記入してください。

④「CPD 単位」欄：ガイドブック表 2 の単位算定方法を参考にして、単位数を算出してください。

(資格取得)

技術管理者 CPDS 記録簿は以下のとおり記入してください。

その際、資格証明書のコピーを添付してください。

①「分野 (記号)」欄：学習分野はガイドブック表 1 を参考とし、選択・記入してください。

- ②「CPD の名称」欄：取得した資格名等を記入してください。
- ③「CPD の内容」欄：取得した資格の内容等を簡潔に記入してください。
- ④「CPD 単位」欄：ガイドブック表 2 の単位算定方法を参考にして、公的資格 A、公的資格 B、民間資格の区分に相当する単位数を算出してください。ガイドブックの公的資格 A,B に記載されていない資格については事務局にお問い合わせください。

(受賞)

技術管理者 CPDS 記録簿は以下のとおり記入してください。

その際、表彰状、感謝状のコピーを添付してください。

- ①「分野（記号）」欄：学習分野はガイドブック表 1 を参考とし、選択・記入してください。
- ②「CPD の名称」欄：表彰状、感謝状名等を記入してください。
- ③「CPD の内容」欄：表彰状、感謝状の内容等を簡潔に記入してください。
- ④「CPD 単位」欄：ガイドブック表 2 の単位算定方法を参考にして、国局長・学協会・知事表彰等、国所長・市長表彰・公的団体等、所属機関の区分に相当する単位数を算出してください。

「認定プログラムの詳細」の一例

登録番号	1210010								
プログラム名称	廃棄物処理施設技術管理者講習(管理課程) 破砕・リサイクル施設コース								
主催者	一般財団法人日本環境衛生センター								
開催日	平成24年5月28日～5月31日(大野城市) 平成24年7月23日～7月26日(東京都) 平成24年9月10日～9月13日(大阪市) 平成24年10月2日～10月5日(広島市) 平成24年11月5日～11月8日(横浜市) 平成24年11月6日～11月9日(名古屋市) 平成24年11月12日～11月15日(仙台市) 平成24年11月13日～11月16日(札幌市) 平成25年1月21日～1月24日(大野城市) 平成25年3月4日～3月7日(大阪市) 平成24年度10回開催								
開催場所	大野城市: 一般財団法人日本環境衛生センター西日本支局 東京都 : 連合会館 大阪市 : 大阪府社会福祉会館 広島市 : RCC文化センター 横浜市 : ワークピア横浜 名古屋市: 愛鉄連厚生年金基金会館 仙台市 : ハーネル仙台 札幌市 : 札幌サンプラザ								
学習形態	1. 研修等への参加 [111]認定された研修会・講習会等への参加								
講義科目	廃棄物処理法 と関連法規	管理監督の 理論と実際	廃棄物処理技術特論		施設の運営管理		施設整備の計画と実際		処理機能の 維持と評価
学習分野	[C] 法令等 関連制度	[M] マネジメント	[B] 環境・ 資源	[G] 専門分野の 最新動向	[K] 維持管理 技術	[L] 安全・ 防災管理	[H] 廃棄物・リサ イクル計画	[I] 施設設計・ 建設	[K] 維持管理 技術
実時間	5	3	1.5	1.5	3	3	1.5	1.5	2
重み係数(CPDF)	2	2	2	2	2	2	2	2	2
CPD単位	10	6	3	3	6	6	3	3	4
合計CPD単位	44								
詳細ページURL	<a href="http://www.iesc.or.jp/">http://www.iesc.or.jp/</a>								
注) 管理課程は各コース共通の講義科目です。									

### 業務経験CPD実施内容【記載例】

(付属資料1)

氏名： 技管 協一

実施年月日： 西暦2013年4月20日

CPDの名称 (プロジェクト等の名称)	ごみ焼却施設における触媒フィルターによる排ガス処理コスト等の削減
主催者等	〇〇市環境センター
学習分野 (分野番号、記号)	K
学習形態(番号)	業務経験(312)
業務の内容 (200字以内で習得された内容・成果等を記入してください。)	焼却炉集塵装置に五酸化バナジウム、二酸化チタンを延伸ポリテトラフロロエチレンに添着した触媒フィルターを用いた結果、活性炭使用料、消石灰使用料等の削減により、ごみ1t焼却あたりの排ガス処理コストを約25%削減できた。

### 自己学習CPD実施内容【記載例】

(付属資料2)

氏名： 技管 協一

実施年月日： 西暦2013年4月20日

CPDの名称	環境技術会誌の熟読
書名等の名称	環境技術会誌
タイトル	特集「廃棄物処理における事故と安全」、 No.132,p.35～71(2008)
主催者等	一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会
学習分野 (分野番号、記号)	K
学習形態(番号)	自己学習(712)
学習時間	2時間
自己学習の内容 (200字以内で習得された内容等を記入してください。)	本特集では、火災の専門家が注目する廃棄物関連の火災事例と危険因子の解説、廃棄物火災に対応した防消火技術の開発について、廃棄物処理施設のプロセス面からの安全分析、今後の安全を考える上で重要なリスクアセスメントについて、そして安全工学や環境工学の専門家が構築している、処理施設の安全管理支援情報提供システムなどについて、それぞれの分野の第一人者がわかりやすく解説している。